取付説明書番号	ME-1457

改－４

新日軽

ＥＪ・ＥＫ型電気錠 取付説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
　商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
　施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。
●電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は必ず電気工事店へ依頼してください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。
●電気錠は分解しないでください。
●投げたり、落したり、ハンマーによる衝撃などを加えないようにしてください。
●２線式電気錠は、ドアホン子器・カラメ付ドアホン子器などと同一線（多芯ケーブル）を使用しないでください。
　また、AC100V 配線とは別配管で配線してください。
●錠内部へは異物（木屑・金属屑など）が入らないように施工してください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

もくじ

梱包明細と施工前の確認……2
各部の名称……3
納まり図……4
１．門扉の加工……5
　１－１現場納まりの確認と不要部品の取外し……5
　１－２縦框の孔加工……5
２．電気錠の施工……6
　２－１結線ボックスの取付け……6
　２－２門扉の吊り込み……6
　２－３錠金具の取付け……7
　２－４外開き時の施工……8
３．配線カバーの取付け……9
　３－１配線カバーの切断……9
　３－２配線の処理……9
　３－３配線カバーの取付け……10
４．施工後の確認……11
　４－１動作確認……11
　４－２施工後の異常に対する処置……11
施工工事店様、販売店様へのお願い……12

「梱包明細と施工前の確認」・「納まり図」の章をお読みいただいた後で、施工作業を開始してください。

⚠注意

●各ボルト・ビス類は確実に締め付けてください。
●無理にボルト・ビスを締め付けないでください。
**　破損の原因となります。**

※この説明書内のイラストは「右勝手・内開き」の内観図を表しています。

梱包明細と施工前の確認

●施工前に部材数量の確認および部品数量の確認をしてください。
　また品質に支障のある損傷がないか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包内容

表内の数字は個数を表しています。

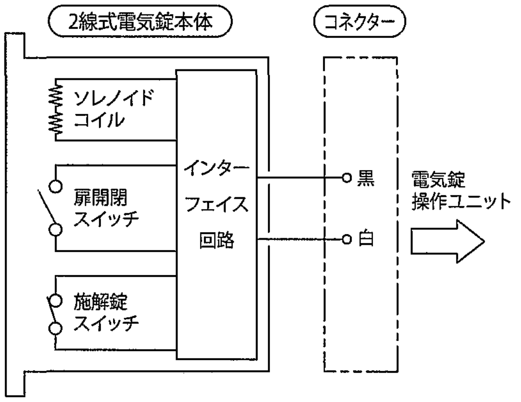
梱包名称	梱包部品・部材	数量	備考
片開きEJ型錠 両開きEJ型錠 片開きEK型錠 両開きEK型錠	電気錠	1セット	
	キー	3	
	結線ボックス	1	
配線カバーセット	配線カバー	1	
	配線カバーキャップ	2	
	配線カバーブラケット	2	
	結束バンド	1	
	φ4×10トラスタッピン3種	8	
	取付説明書［ME-1457］　※この説明書です。	1	
外開き用受け座フロント	外開き用フロント	1	※1
	φ4×19皿セルフドリリングビス	2	

※ 1 の部品は外開き用に使用します。

内部回路

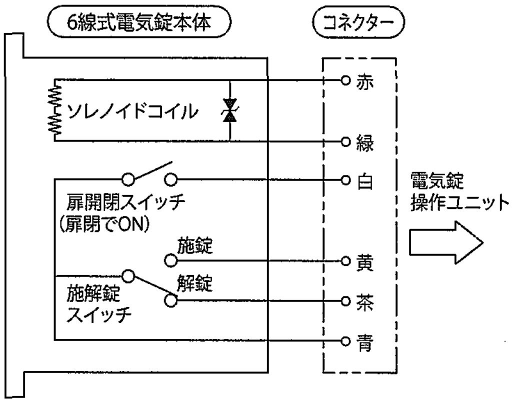
※下図は解錠・扉開の状態を示しています。

● 2 線式（EJ 型錠）



ME1457-01

● 6 線式（EK 型錠）



	施錠	解錠
赤	−	＋
緑	＋	−

ME1457-02

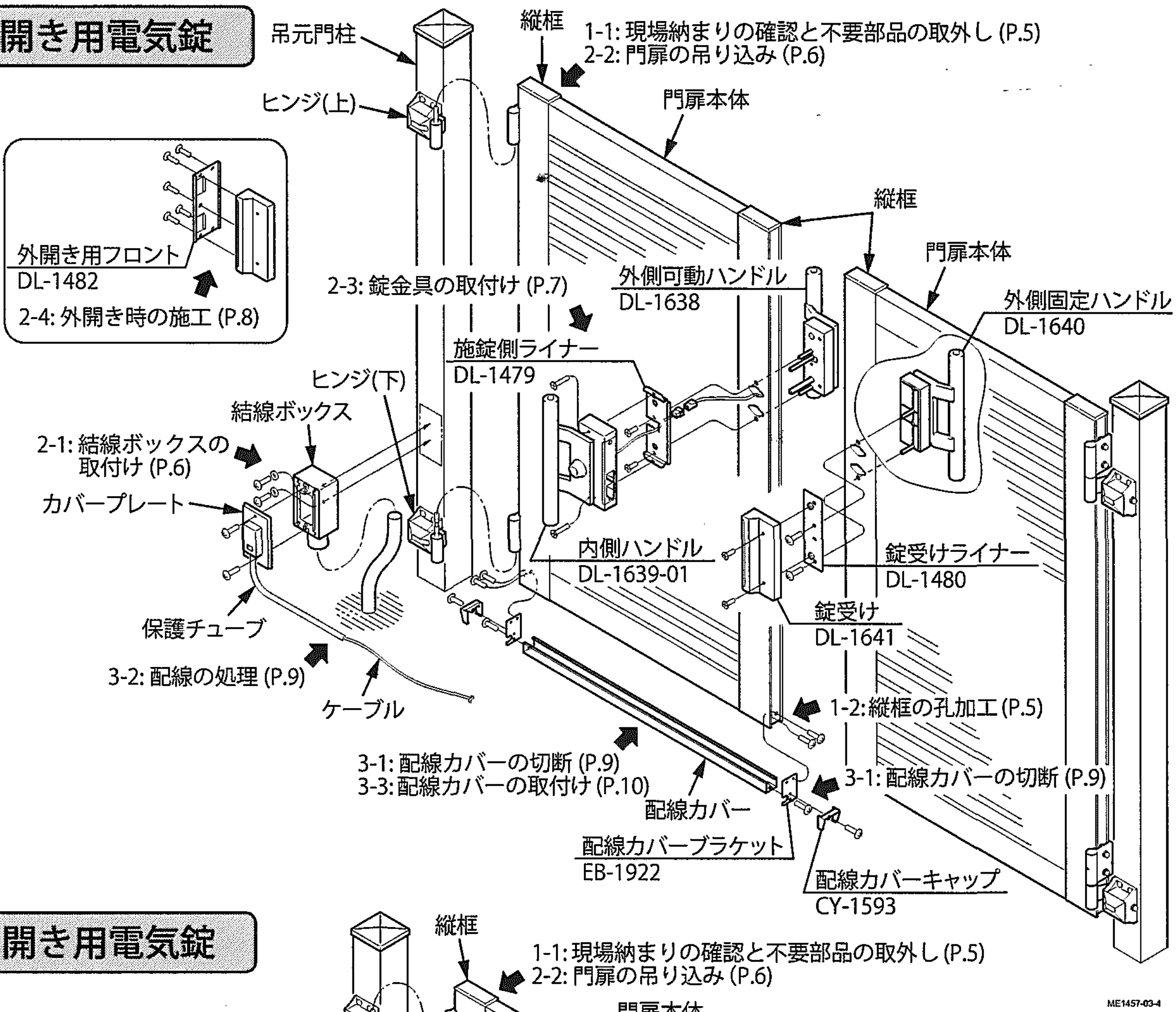
仕様

定格電圧	24V
定格電流	0.35A
使用温度範囲	－10℃～ 50℃

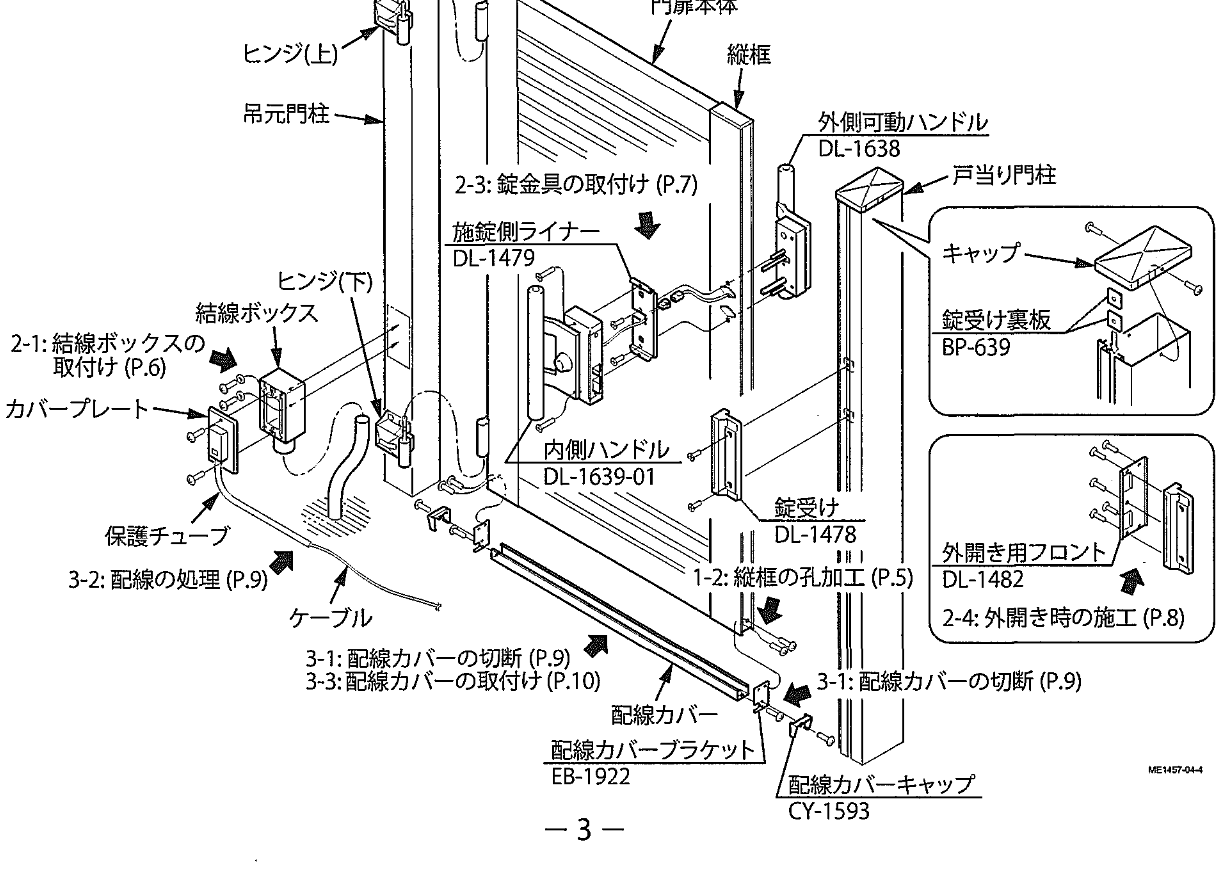
各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
※( )内は説明ページを示しています。

両開き用電気錠



片開き用電気錠



納まり図

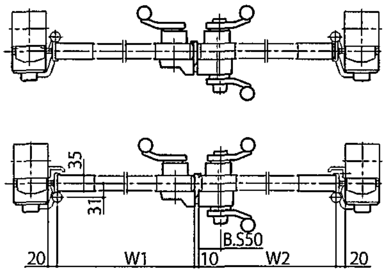
●W=門扉巾寸法・H=門扉高さ寸法を示しています。
●下記納まり図は H=1200 の内観図です。
●《　》内はモデノ門扉の場合を示しています。

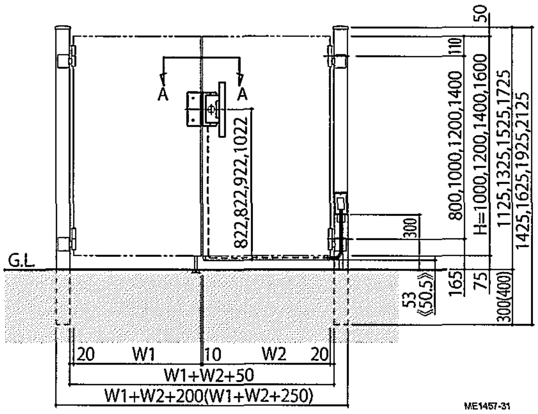
両開き用電気錠

●門柱式

外開き

内開き

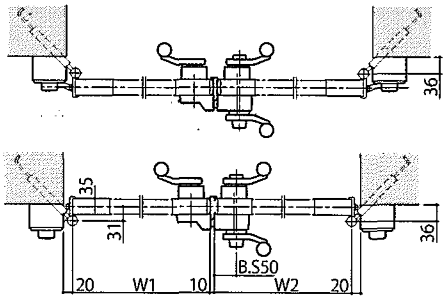


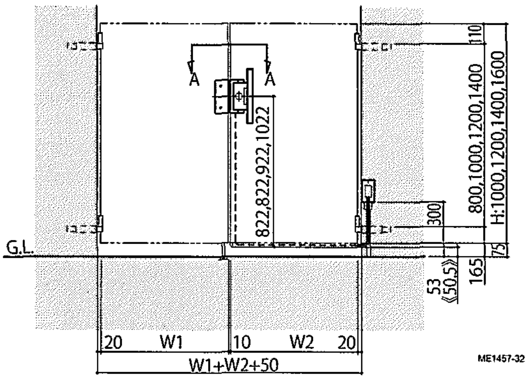


●直付け式

外開き

内開き



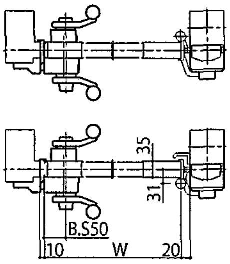


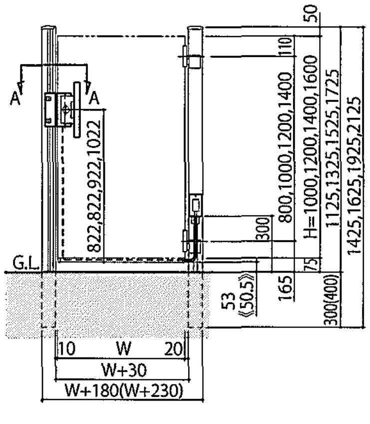
「直付け式片開き」には電気錠を取付けることはできません。

片開き用電気錠

外開き

内開き

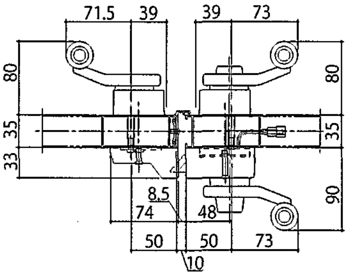




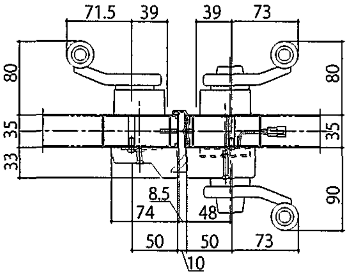
錠部詳細 (AA 断面)

●両開き

内開き

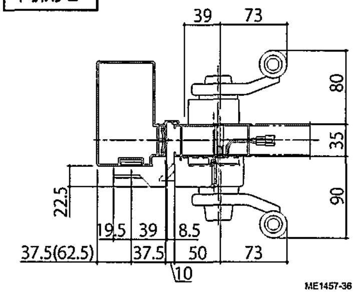


外開き

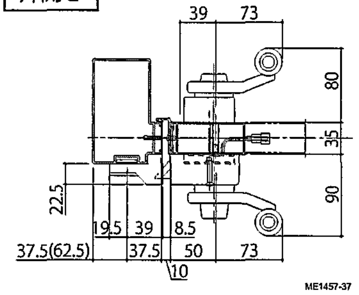


●片開き

内開き



外開き



1 門扉の加工

●電気錠の施工前に、門扉の現場納まりを確認し、縦框に孔加工してください。

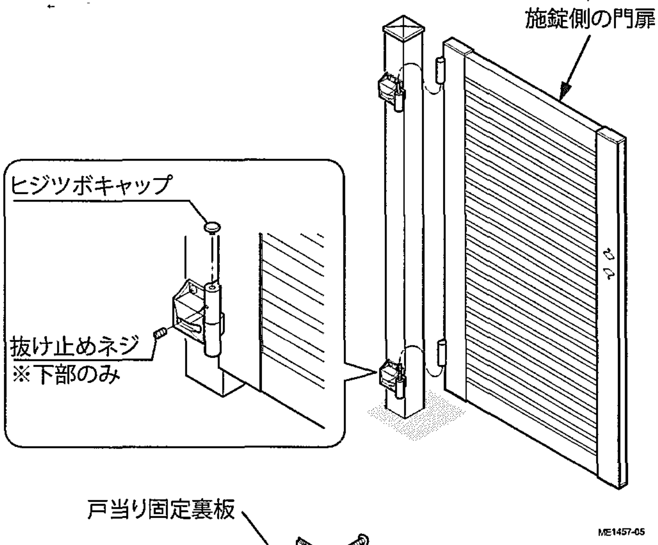
1－1 現場納まりの確認と不要部品の取外し

門扉が施工されていない場合

①門柱およびヒンジの取付説明書を参照して、門扉本体を施工してください。

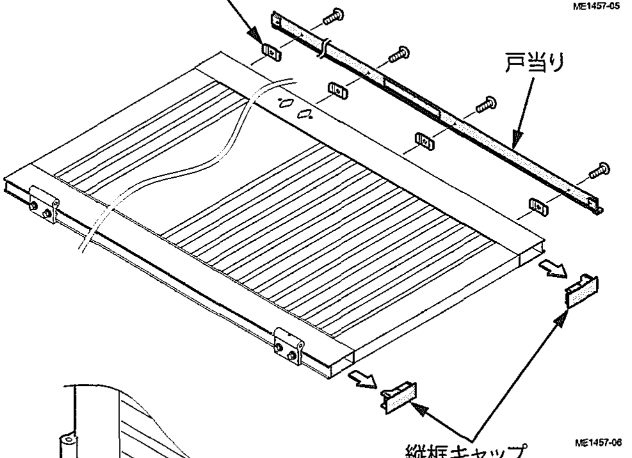
門扉が施工されている場合

①施錠側の門扉を取外してください。



②戸当り（取付けている場合）を取外してください。「手順3-3.」で配線カバーを取付け後、再度戸当りを取付けてください。

③下側の縦框キャップ（2個）を取外してください。

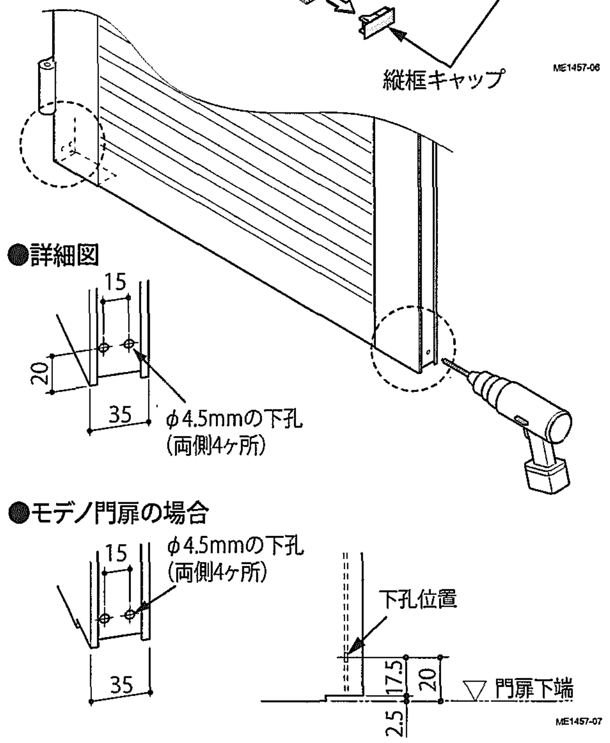


☞	錠受け側の門扉にも配線カバーを取付ける場合は、同様の作業を行ってください。

1－2 縦框の孔加工

①右図の寸法にしたがい、両側の縦框下部に孔加工してください。
（「3. 配線カバーの取付け」（P.9）時に必要となる孔加工です。）

☞	●錠受け側の門扉にも配線カバーを取付ける場合は、同様の作業を行ってください。 ● H1800・2000タイプの錠受け側の門扉には配線カバーの取付けはできません。

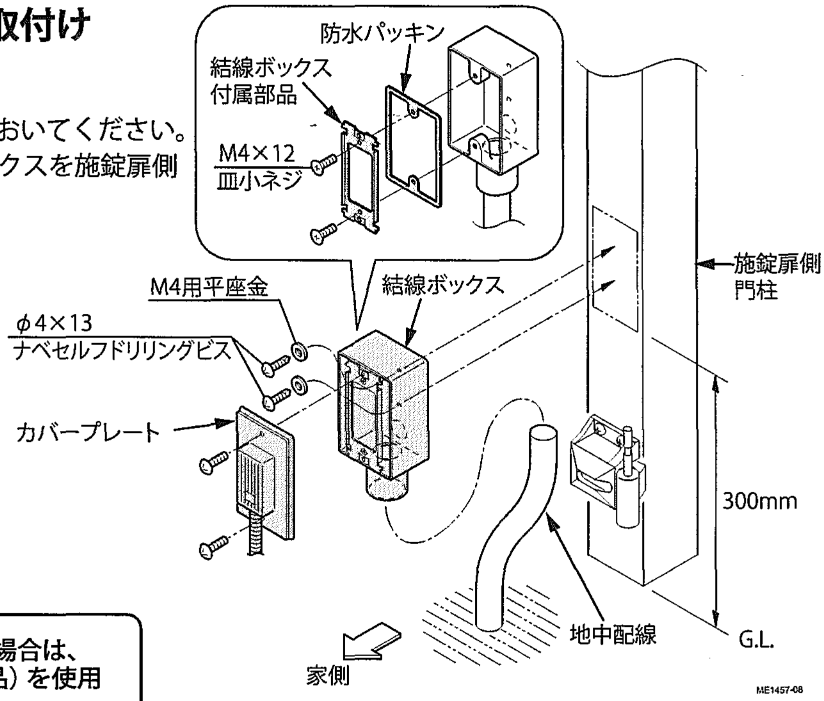


2 電気錠の施工

●配線・結線についての詳細は、電気錠操作器およびテンキーなどの説明書を参照してください。

2－1 結線ボックスの取付け

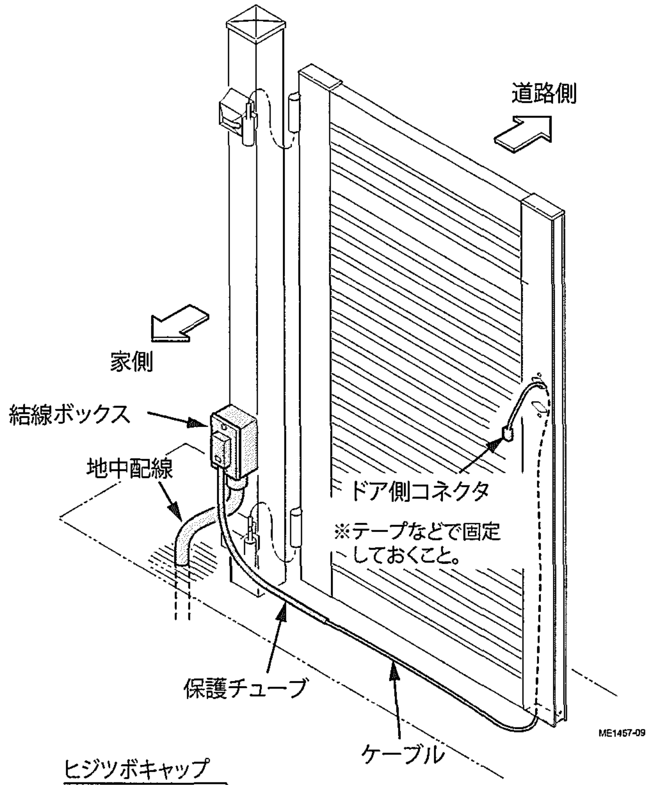
①地中配線を 300mm 程度立ち上げておいてください。
②カバープレートを取外し、結線ボックスを施錠扉側門柱の家側に取付けてください。



③結線ボックス内で、電気錠ケーブルと電気錠コントローラーからのケーブルを結線してください。
④再びカバープレートを取付けてください。

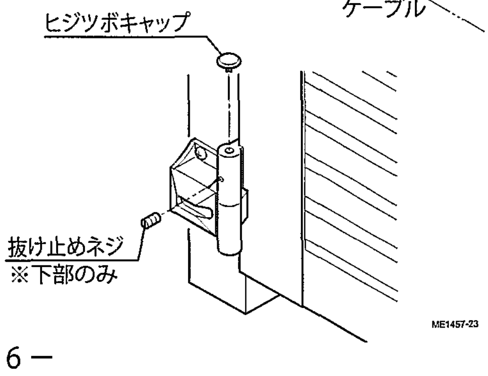
> **躯体に結線ボックスを取付ける場合は、オールプラグ M4 × 25L（市販品）を使用してください。**

④ドア側コネクタを門扉の縦框に通し、錠金具の取付用孔から出して、テープなどで固定しておいてください。



2－2 門扉の吊り込み

①門扉を吊り込んでください。



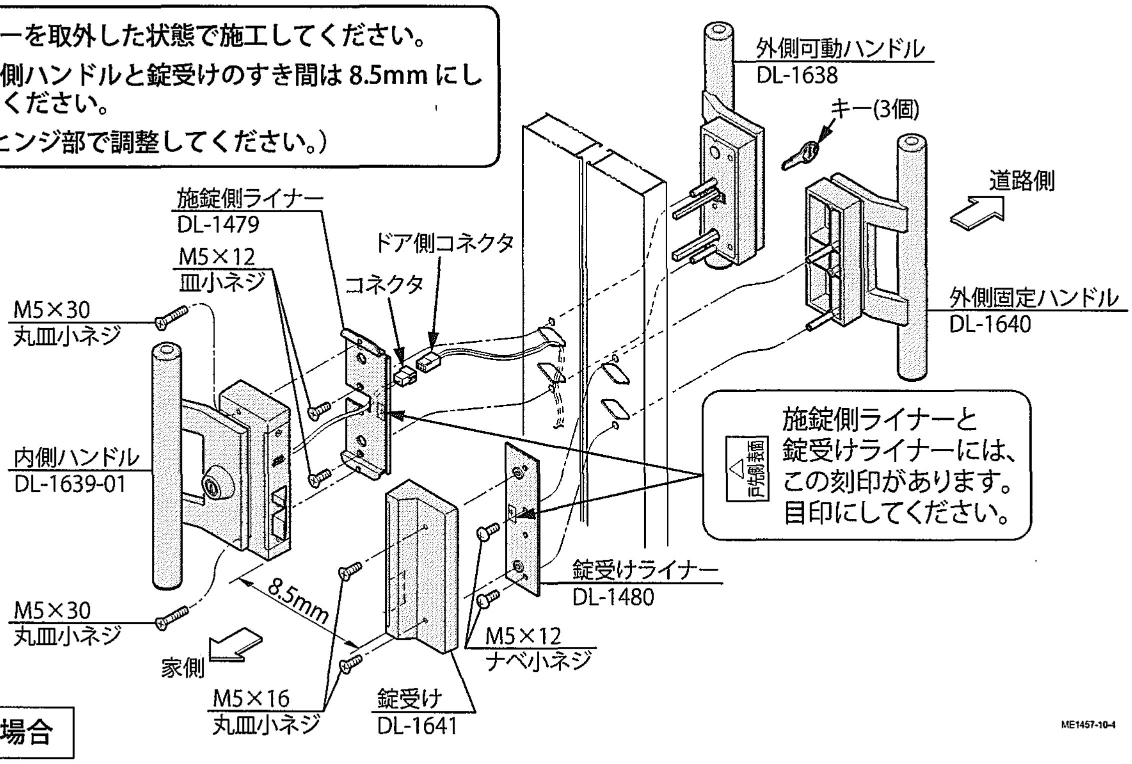
2－3 錠金具の取付け

●下図は「右勝手・内開き」を示しています。
●「左勝手」の場合は、左右対称になります。
●「外開き」の場合は、「2-4:外開き時の施工」を行ってください。

両開きの場合

①内側ハンドルのコネクタと結線ボックスのドア側コネクタを接続してください。
②各錠金具を門扉に取付けてください。

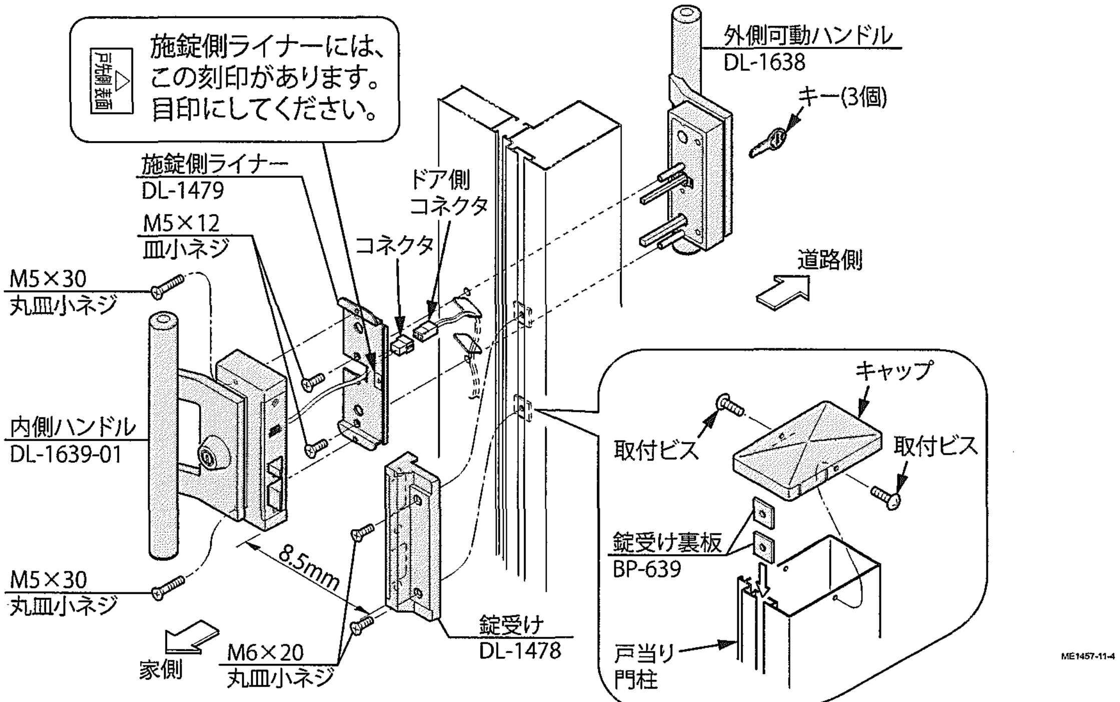
●キーを取外した状態で施工してください。
●内側ハンドルと錠受けのすき間は 8.5mm にしてください。
（ヒンジ部で調整してください。）



片開きの場合

①内側ハンドルのコネクタと結線ボックスのドア側コネクタを接続してください。
②外側可動ハンドルと内側ハンドルを門扉に取付けてください。
③錠受けを錠受け裏板を使って、戸当り門柱に取付けてください。

門扉の吊り込み後、錠受けの位置合わせを行ってください。



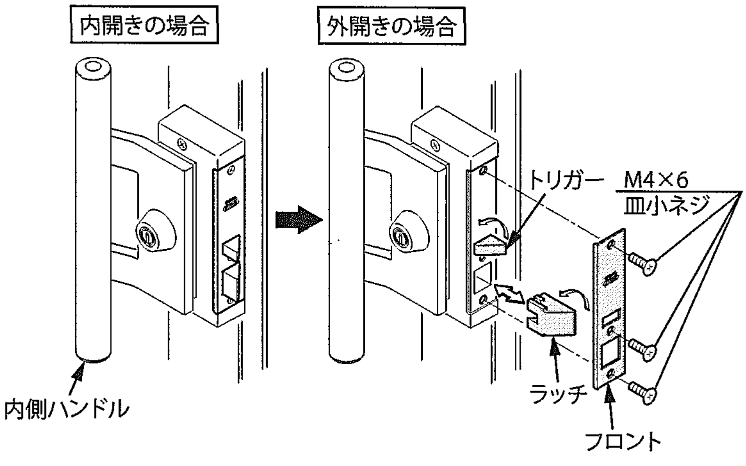
2－4 外開き時の施工

①内側ハンドルのフロントを取外してください。

②ラッチを取外し、向きを変えて差し込んでください。

③トリガーは回して向きを変えてください。

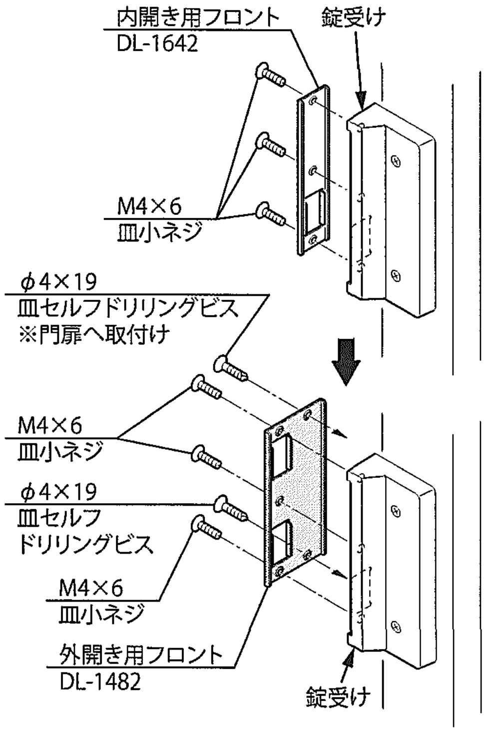
④再びフロントを取付けてください。



⑤錠受け側の内開き用フロントを取外してください。

⑥取外したビスを使用して、梱包品の外開き用フロントを取付けてください。

⑦梱包品のセルフドリリングビス（2ケ所）を取付けてください。



※本図は両開きの場合を示しています。

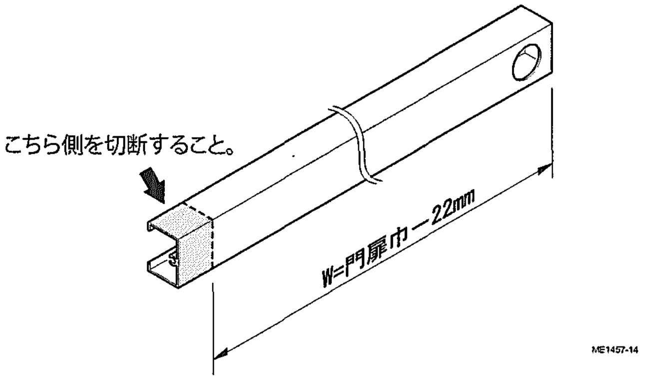
ME1457-13-4

> セルフドリリングビスは、門扉（両開き）または戸当り門柱（片開き）に取付きます。

3 配線カバーの取付け

3－1 配線カバーの切断

①門扉巾に合わせて、配線カバーを切断してください。



出荷時の配線カバーの長さは、門扉巾1100mm 用です。

配線カバーの孔加工側は切断しないでください。 切断して、孔がなくなると、落し棒が下がらなくなります。

門扉巾	配線カバー (W)
1100mm	1078mm
1000mm	978mm
900mm	878mm
800mm	778mm
700mm	678mm
600mm	578mm
400mm	378mm

3－2 配線の処理

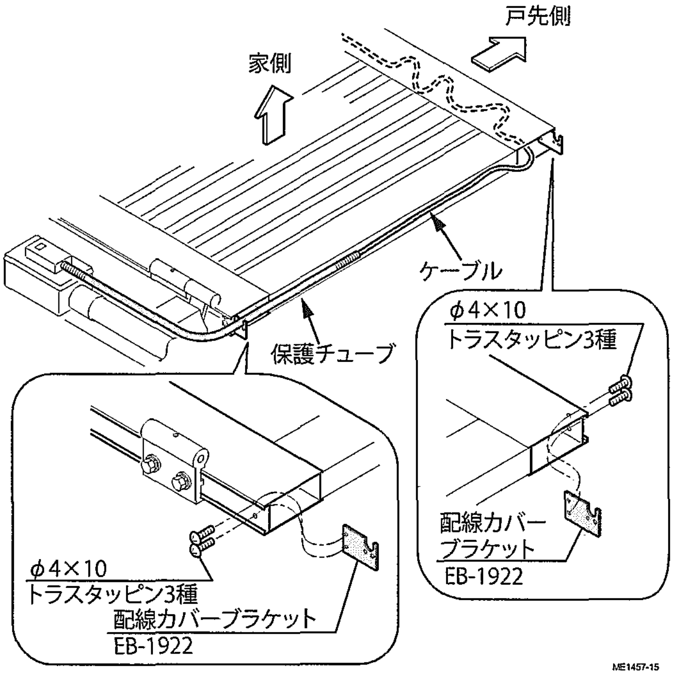
①配線カバーブラケットを門扉に取付けてください。

「1-2. 縦框の孔加工」(P.5) で行った孔加工部に取付けてください。

※配線カバーブラケットには部品番号［EB-1922］が刻印されています。

配線カバーブラケットの切り欠きを家側に向けて取付けてください。

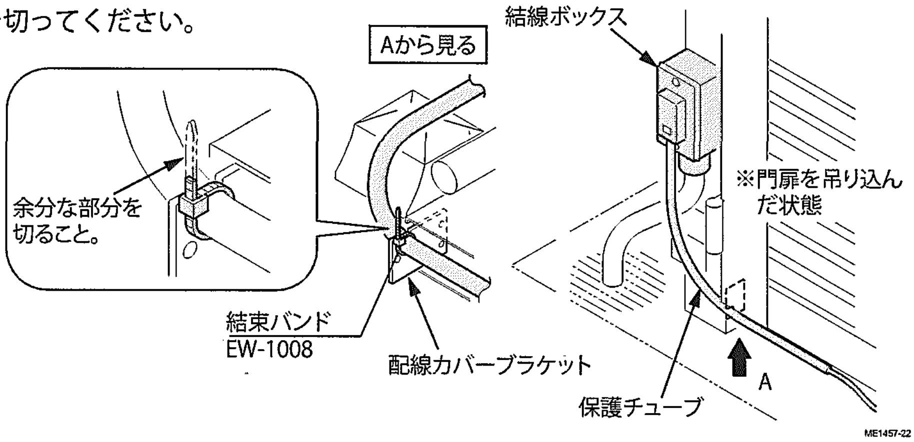
②保護チューブを配線カバーブラケットに引掛けてください。



③門扉を開閉し、結線ボックスの保護チューブの長さを調節して、結束バンドを固定してください。

> **下図の位置に結束バンドを取付けると、保護チューブの長さが固定され、配線カバー内の保護チューブは、それ以上外部へ出なくなります。**

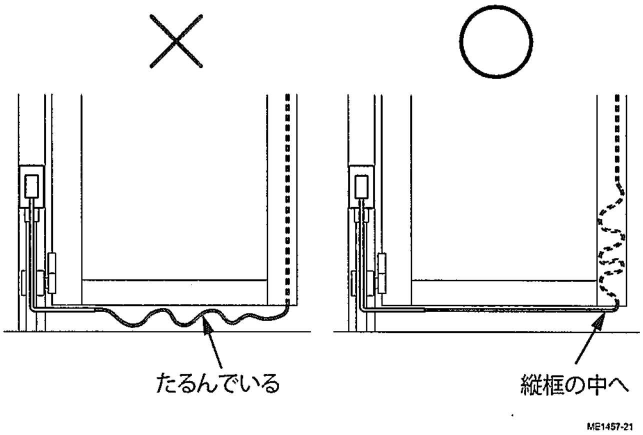
④結束バンドの余分な部分を切ってください。



3－3 配線カバーの取付け

①たるんでいるケーブルを門扉の縦框の中へ押し込んでください。

> **ケーブルがたるんでいると、配線カバーを取付けることができません。**



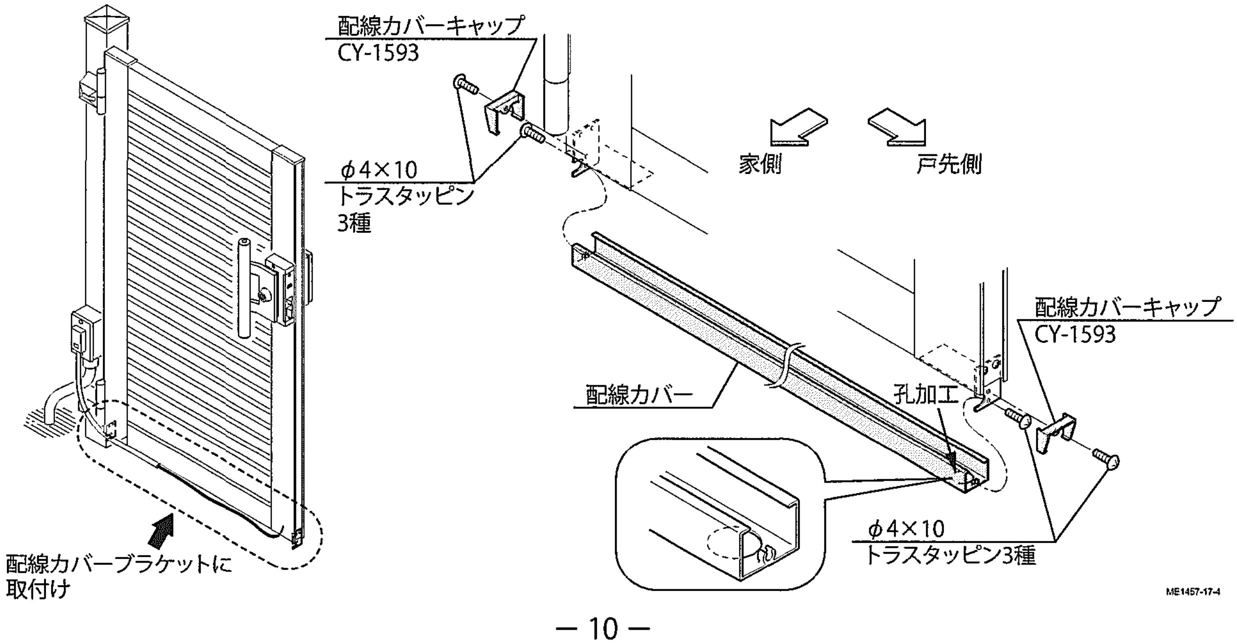
②配線カバーを配線カバーブラケットに取付けてください。

③配線カバーキャップを配線カバーブラケットに取付けてください。

※配線カバーキャップには部品番号［CY-1593］が刻印されています。

④「手順 1-1.」で戸当りを取外している場合は、戸当りを取付けてください。

> **必ず孔加工側を戸先側にしてください。**



4 施工後の確認

●ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
●可動部品につきましては作動チェックを行い不具合がないか確認してください。
●使用上危険な箇所等がないか点検してください。

4－1 動作確認

「2：電気錠の施工」を参照して、下表の動作確認を行ってください。

施錠	電気的操作	シークレットスイッチまたは操作ユニットの操作にて施錠してください	施錠となりハンドルは固定されて扉を開けることができなくなります
	機械的操作	キーを吊元側に回してください	
解錠	電気的操作	シークレットスイッチまたは操作ユニットの操作にて解錠してください	解錠となりハンドルを操作して扉を開けることができます
	機械的操作	キーを戸先側に回してください	

4－2 施工後の異常に対する処置

錠前の動作や操作が正常でない場合は、下表の確認を行ってください。
(各取付ビスはしっかりと締め付けてください)

チェック項目	結果	備考
扉の状態は正常か。 (1)扉のねじれ、ゆがみはないか。 (2)扉のはね返りないか。 (3)錠前側のチリ(受座と錠本体のすき間)は10mm以内か。		
錠本体・フロントが扉に正しく納まっているか。		
ハンドル座の取付け状態は良好か。 (1)異常なガタツキはないか。 (2)動きはスムーズか。		
受座の取付け状態は良好か。 (1)取付け方向は正しいか。 (2)ラッチと受座の穴の位置(上下・前後)は正しいか。		
通電金具の取付け状態は良好か。		
扉を開けた状態での、電気錠の動作は良好か。 (1)ラッチ・トリガーの動きはスムーズか。 (2)トリガーを押し込んだ状態でキーを吊元側に約45°回した時ラッチ、及びハンドルが固定されているか。 (3)キーを戸先側に約95°回した時、ハンドルを操作して(ラッチの背面を押して)ラッチが回転できるか。		
扉を閉じた状態での、電気錠の作動は良好か。 (1)扉が軽く閉まりスムーズにラッチングするか。 (2)キーを吊元側に約45°回せるか。 (3)その時、ハンドルが固定されて、扉を開けることができなくなるか。 (4)キーを戸先側に約95°回した時、ハンドルを操作してラッチが回転し、扉を開けることができるか。 (5)自動施錠で使用する時、扉を閉めると施錠されハンドルが固定されるか。		
結線は正しくなされているか。 (1)操作盤・通電金具・電気錠の間は正しく結線されているか。 (2)断線はないか。 (3)配線は電気錠操作ユニットと電気錠の間の距離に見合う太さの線を使用しているか。		

施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。

●この説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年 月 日
施 工 工 事 店	TEL（ ） －
販 売 店	TEL（ ） －
商 品 名	
そ の 他	